

3 人事担当と情シス担当が各業務担当のICTリーダーと対話を重ね取組を推進【埼玉県上里町】

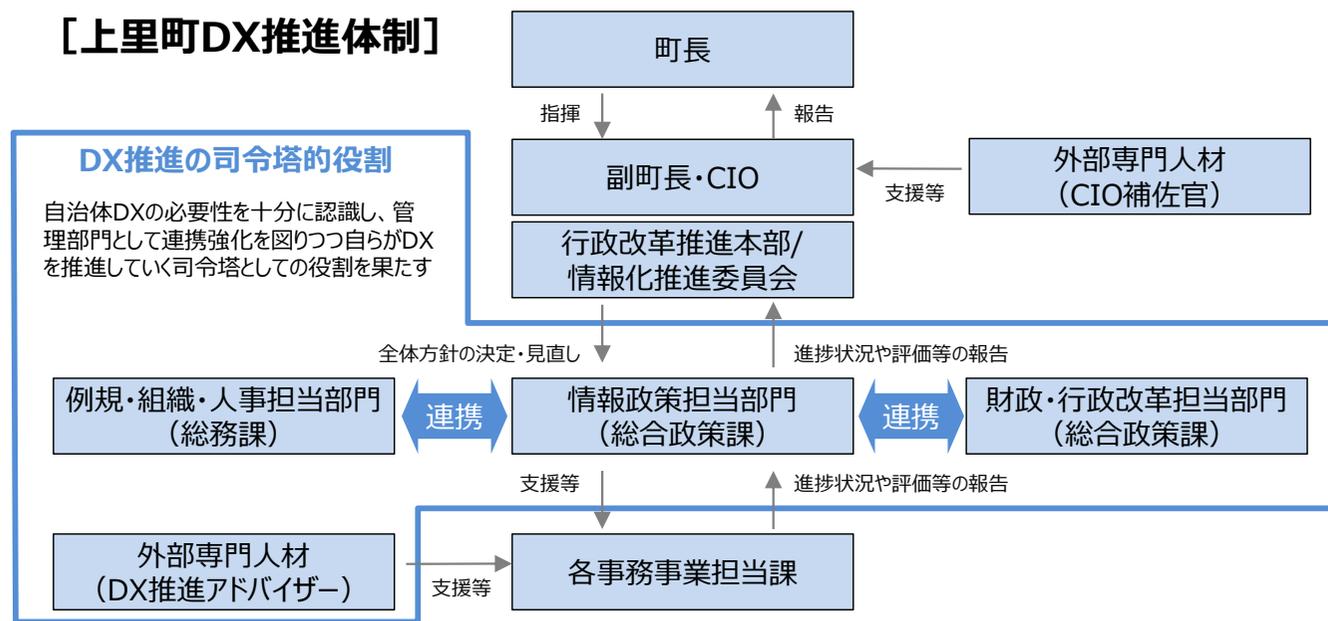


➤ 町長の直接の指揮のもと、総務課（組織、人事）と総合政策課（情シス、行革、財政）が司令塔機能を担いつつ、各業務課選出のICTリーダーと相談、情報提供、調達支援等を密に実施

事業の概要

- 自治体DXの推進を「行政改革に係る重要事項」と捉え、ビジョン・工程表等からなる全体方針の決定や改正は、町長をトップとする幹部・全課長が参加する上里町行政改革推進本部において実施。
- 特に重要なDX施策等の決定・調整等については、部局間の調整を担う役割として副町長をCIOに定め、CIOを委員長とする上里町情報化推進委員会において実施。
- **毎年度、各事務事業担当課から1名ずつICTリーダー（情報化推進責任者）を選出し、司令塔的役割を担う部門と対話（相談・情報提供・調達支援等）を密に実施。** 情報システム・情報政策専属部門の設置が困難な小規模自治体特有の課題を、組織ぐるみのDX推進により解決。

[上里町DX推進体制]



(1)行政改革推進本部/情報化推進委員会

ビジョン・工程表等からなる全体方針を決定・改定

(2)例規・組織・人事担当部門（総務課）

人材育成・人材確保とともに体制構築と適正な人員配置を推進

(3)情報政策担当部門（総合政策課）

DX施策の取りまとめ、全体方針との整合性調整
全庁的な情報基盤の整備、運用、評価、改善

(4)財政・行政改革担当部門（総合政策課）

業務効率化と住民サービス向上に資するDXを行政改革の面から推進、積極的財政措置

(5)各事務事業担当課

全体方針を踏まえたDX施策を企画・実施

3 人事担当と情シス担当が各業務担当のICTリーダーと対話を重ね取組を推進【埼玉県上里町】



(総務省)

取組の経緯・きっかけを教えてください。

「自治体DX推進」を行政改革に係る重要事項と捉え、**町長をトップとする全庁的な体制「上里町行政改革推進本部」**において、自治体DX推進の全体方針を決定しています。

また、令和元年東日本台風（台風19号）では町の約半分を囲む烏川・神流川の河川氾濫の危険性が高まり、大勢の住民が一時避難、ほぼ全ての職員が災害対策に従事し、それ以降本庁の災害意識は急激に高まりました。

これらを背景に翌年には、美里町・上里町と民間事業者の3者でICT・IoT等の活用による地域活性化に向けた連携に関する協定書を取り交わし、レポートシステム、オートコールサービス、見える通訳など多様なソリューションを試験導入してまいりました。

令和4年度にはこの協定に基づき、自治体DX並びにデジタル田園都市国家構想を踏まえた取組の推進と深化を図るため、**民間事業者の社員を「DX推進アドバイザー」として派遣いただき、更なる推進体制の強化**を行いました。



(上里町)



取組にコストはかかりましたか。

ICTリーダーのデジタルリテラシー向上に、J-LISのeラーニング活用しているほか、適宜情報政策担当からのソリューション等情報提供や不定期の情報交換会を開催するなど、**特段のコストはかかっていません。**

また、**外部専門人材（DX推進アドバイザー）**については、**連携協定に基づく民間事業者からの派遣で、特に費用等は発生していません。**オンラインを基本とし在庁勤務もあります。在庁対応においても費用は発生しておりません。（※連携協定に基づく要綱により）



ICTリーダーの選任方法を教えてください。

要綱にて各課1人と決めています。年度初めに各課へ選出依頼を行い、**職位を問わず各課で選出**しています。

※ 職位を定めないことにより、各課内でもともとデジタル活用やDXに関心の高い職員が選出されている傾向があり、このお陰で意見交換等も活発に行えます。



3 人事担当と情シス担当が各業務担当のICTリーダーと対話を重ね取組を推進【埼玉県上里町】



(総務省)

取組の成果・近況を教えてください。

令和2年4月、緊急事態宣言を踏まえ、本庁では速やかにビジネスチャットツール・テレワークシステムを導入しましたが、各課ICTリーダー経由で操作説明を実施し、全員を集めることなく早急な運用開始を実現しました。

各課情報化推進責任者が気軽に情報政策担当に相談し、多様な取組が各課発案で進められる組織風土が生まれ始めています。

具体的な事例としては、都市計画・道路管理部門の発案により、地理情報システム（GIS）をインターネット公開し「上里町地図情報システム（かみさとオープンGIS）」を公開することで、コロナ禍における窓口来庁が低減しました。

また、介護担当部門・障害福祉担当部門の発案により、介護認定審査会と障害区分認定審査会それぞれにタブレットとペーパーレス会議システムを導入しペーパーレス化を実現し、印刷等にかかる職員負担を軽減しました。



(上里町)



他自治体からよく質問されることを教えてください。

「なぜそこまで多様な取組が進められているのか」と聞かれることがありますが、「**行政改革の重要事項と位置付けてトップダウンで進めているので**」と回答しています。

トップの変革への意識とその意思決定に基づき、司令塔機能やICTリーダーが効率的に現場の課題を整理しつつ対応することが重要と感じています。



今後の展望を教えてください。

情報化推進責任者は毎年度各課より計17人選出されます。この経験者が年々増えることで、いずれは組織のほとんどの職員がデジタル活用やDX推進そして変革への意識を持ち「あらゆる課題に適應できる組織」へと成長していけるよう引き続き取組を推進・深化していきたいです。

また、外部専門人材（DX推進アドバイザー）が常駐では無いため、実状としては情報政策担当部門との接点しかない状況であるため、今後は各事務事業担当課と直接関わる機会を増やしていきたいです。



☆担当：上里町 総合政策課 情報システム戦略係☆

【参考情報】 上里町人口：3.1万人

関連URL：上里町 デジタル行政の推進について (<https://www.town.kamisato.saitama.jp/5601.htm>)

上里町地図情報システム（かみさとオープンGIS） (<https://www.town.kamisato.saitama.jp/5781.htm>)

受賞歴等：令和4年度 デジ田甲子園 実装部門出場（オートコールソリューション等を活用した災害発生時の避難誘導）

(<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/koshien/index.html>)